

不登校児童生徒の多様なつながりを目指した支援に関する研究

ーメタバースを活用した実践を通してー

教育相談室 矢野 泰 慎 川 中 亜紀子 富 田 和 宏
酒 井 綾 山 崎 慶 子 高 橋 信 之
長谷部 真由美 坪 田 朋 也 中 塚 広 樹
濱 本 沙和佳

1 研究の目的

本研究の目的は、メタサポキャンパスでの支援の効果を検証することである。児童生徒が、他者や学習とのつながりを持つことができたか、また、そのつながりがどの程度であったかに視点を置いて検証する。

2 研究の内容

(1) メタサポキャンパスにおける支援の概要

ア 支援の目的

支援の目的は、児童生徒の社会的自立に向けてのきっかけをつくることである。

イ 使用アプリケーション

株式会社ガイアリンクのガイアタウンを使用している。

ウ 対象児童生徒及び担当スタッフ

対象児童生徒は、県内の小、中学生。担当スタッフは、愛媛県教育支援センター指導主事4名、愛媛大学教職大学院のキャンパスサポーター10名である。

エ 利用者スケジュール

開設時間は、平日の9時から16時であり、随時、入退室が可能である。

(2) メタサポキャンパスにおける支援の実践

ア 他者とのつながりに関する実践

スタートタイム、イベントタイム等の実践を行った。

イ 学習とのつながりに関する実践

ICT教材「eboard」、えひめ学習動画プラットフォーム等の実践を行った。

(3) 実践結果

ア 利用状況

12月末時点での利用者の実人数は146人、延べ人数は3,576人である。

イ 他者とのつながりについての検証

本キャンパス内で児童生徒が他者とのつながりを持つことができていたことを確認できた。

また、他者との関わりについての満足度が高水準であることも確認できた。

ウ 学習とのつながりについての検証

約7割の児童生徒が学習に取り組んでいることを確認できた。また、学習とのつながりについての満足度が高水準であることも確認できた。

エ 他者や学習の満足度と安心感についての検証

児童生徒の安心感の度合いが高水準であることを確認できた。また、他者や学習とのつながりの満足度と、児童生徒の安心感の度合いには、正の相関関係があることを確認できた。

3 研究のまとめ

本研究の成果は、本キャンパスでの支援が児童生徒の他者とのつながりや学習とのつながりに好影響を与えていること、そうしたつながりの満足度が高水準であること、他者や学習とのつながりの満足度と児童生徒の安心感に正の相関関係があることの三つを確認できたことである。

研究の課題は、児童生徒の満足度や安心感を更に高めることや学習コンテンツを充実させることである。